

平成 26 年度一般社団法人音楽電子事業協会 事業報告
(理事会 幹事会 運営委員会)
(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

(1) 理事会/幹事会の開催

平成 26 年度第 1 回理事会/幹事会 (平成 26 年 5 月 15 日開催)

- ・平成 25 年度 収支決算承認及び総会への付議承認
- ・平成 26 年度 収支予算 (案) 承認及び総会への付議承認
- ・平成 26 年度 役員選任の件

(2) 理事会

第 2 回 理事会 (平成 26 年 12 月 3 日 開催)

- ・平成 26 年度 事業活動中間報告(各委員会状況)
- ・平成 26 年度 今期着地見込み及び来期計画策定に係る要素について(報告)

(3) 運営委員会

平成 26 年度 運営委員会 (平成 27 年 2 月 24 日開催)

- ・平成 26 年度事業報告が各委員会から報告、検討された。
- ・平成 26 年度収支着地見込みが事務局より提案、検討された。
- ・平成 27 年度事業計画案 (委員会別) が各委員会より提案され検討された。
- ・平成 27 年度事業計画案に基づき、平成 26 年度収支予算案が検討された。
- ・平成 26 年度第 2 回幹事会/第 3 回理事会及び第 4 回通常総会の予定が案内された。

(4) 理事会/幹事会の開催

平成 26 年度第 2 回幹事会/第 3 回理事会 (平成 27 年 3 月 19 日開催)

- ・平成 26 年度 事業報告 (案)
- ・平成 26 年度 収支決算 (着地見込)
- ・平成 27 年度 事業計画 (案)
- ・平成 27 年度 収支予算 (案)
- ・平成 27 年度 役員交代 (案)
- ・第 4 回通常総会・懇親会開催の件

平成 26 年度一般社団法人音楽電子事業協会 事業報告
(専門委員会)
(平成 26 年 4 月 1 日より平成 27 年 3 月 31 日まで)

(1) 製品安全・環境委員会

安全規格部会 (4 回)、環境問題研究部会 (4 回) 外部委員会出席 (JEITA マルチメディア EMC 専門委員会、JBMA 第 108 委員会、電気用品調査委員会電波雑音部会、電気製品認証協議会)

事業報告

部会による情報収集及び情報提供を通じて、各社製品の安全及び環境問題への対処活動に活かすことができた。

主な情報交換の要点は次の通り

〈 安全規格 〉

- ・ 日本及び各国の規格動向調査
電気用品安全法の省令改正、技術基準の性能規定化
- ・ 国際規格の動向調査
60065, 60950, 62368, 規格移行、改定
NLF 改正LVD 指令
他、関連規格
- ・ その他各国の動向調査
中国: 中国安全認証制度の実施要領改正
韓国: 韓国電気用品安全管理法 施行令、施行規則改正
台湾: BSM 認証の改定

〈 EMC 〉

- ・ NLF 改正 EMC 指令
- ・ CISPR32, CISPR35 および、J 規格化
- ・ 欧州 EN (EMS) RE 指令
- ・ Canada 規制動向

〈 その他 〉

- ・ US:DOE エネルギー規制発行
- ・ トルコ:消費者保護法

〈 環境関連規制 〉

- ・ 国内 3R、化審、化管法関連
- ・ 欧州 RoHS、REACH、ErP、BPR 関連
- ・ 中国環境法関連
- ・ 韓国環境法関連
- ・ 米国環境法関連 州法、Proposition 65 など
- ・ 化学物質管理関連

その他報告

【 製品安全規格部会 】

- ・ 部会長の交替
ローランドより河合楽器に引き継がれた。
今後、部会長は任期 2 年で持ち回りとする。
- ・ 外部団体への参加について
参加団体及び担当会社は継続とした。但し、電安法への要望窓口となる参加団体については引き続き適切な団体を調査する。

【 環境問題研究部会 】

- ・ JIGからIEC62474 へ発展する過程で積み残しとなっていたTool(XML ベースの DB を使用)のリリース時期が見えてきた。サプライチェーンにおける化学物質管理情報の共有の仕組みなどは上記Tool の使用など経産省主導で枠組みを構築中であるが、中小企業を含めて有用性のあるシステムとなるかは不明である。また諸外国化学物資政策とのすり合わせなどの問題もある。化学物質管理関連の情報ソースとしてJGPSSI に代わる外部委員会を検討してはいるが、現時点では有益な委員会が見あたらない為、今期も参加は見合わせた。(引き続き検討)

(2) MIDI 規格委員会

委員会 1 回、1.0 部会メール審議、技術研究部会 6 回、MIDI 国際標準化 WG メール審議、Trademark-WG 2 回、Web MIDI WG 7 回、AMEI/MMA 合同会議 1 回、MMA 総会オブザーバー参加

事業報告

【 MIDI1.0 部会 】

- ・ TSB #202 Updated MIDI Electrical Specification(3.3V MIDI)の審議
MMA 最終文書確認し、修正協議。その後、最終合意がなされ、AMEI にて電子サイン準備中。
- ・ ステレオミニプラグを用いた MIDI ケーブルについて
ステレオミニプラグを用いた MIDI ケーブルが市場に出ており、互換性の確認ならびに規格化について検討したが、混乱を防ぐために 5PIN DIN を使うようにし、規格化は行わない方向とした。

【 技術研究部会 】

- ・ HD プロトコルに関する技術リサーチ
HD プロトコル仕様書の確認、NAMM での AMEI & MMA Management Meeting において、HD プロトコルに対する AMEI のステータスの確認を行った。
- ・ シリアル通信以外の伝送路における MIDI の評価、検討
Apple Bluetooth MIDI Specification に関して要望提出。

【 MIDI 国際標準化 WG 】

MMA/IEC 間の契約について最終合意。IEC に提出するドキュメントの文章修正中。最新ドラフト を中央事務局に New Project として送ればファストプロセス“NP+CDV”としてスタートする予定。

【 TM (トレードマーク) WG 】

MMA ならびに中国 CMIA 協力のもと、SKY 社の中国における MIDI 商標の取消請求が、7 月 SKY 社の不服申し立てもなく、最終的に確定した。

尚、中国における MIDI 商標の取消という当初の目的を達成した為、WG も一旦クローズし、今後新たな案件が出てきたら、また WG を立ち上げる事とする。

【 Web MIDI WG 】

- ・ Facebook での Web MIDI API の専用 Page による情報発信・共有
- ・ APPS Japan 2014 に Web MIDI 関連として VJ、ボーカロイド、ドラムロボット出展
- ・ W3C 日本会員会議出席、第3 回 Web Music ハッカソンに参加し、チューターや楽器の貸出などにより、MIDI の普及啓発活動を行った。
- ・ W3C 日本事務局と連携し、慶應大学 SFC Open Research Forum にてニコファーレと楽器フェア会場を回線で結び「Web and Music」セミナー開催。Web MIDI API を用いて遠隔 MIDI 制御デモ。
- ・ 中国のミュージックチャイナに参加し、MMA とともに MIDI Technical Symposium 開催
- ・ 米国サンタクララにて開催の TPAC 2014 参加

【 NAMM2014 ツアー 】

2015/1/21～1/27 の期間で NAMM2015 ツアーを 15 名の参加者を得て実施。

【 その他報告 】

Music XML に関する技術調査

JEITA TC-100 TA10 対応標準化 G 会議への参加

IEC 東京大会 TA10 会合に参加

(2) 著作権・ソフト委員会

委員会活動実績 定例会 11回 (詳細別紙)

委員会定例会を通じて情報提供、意見交換、決議をおこなった。各部会はそれぞれのテーマ領域において活発な活動を展開した。

「カラオケ部会」12回

部会開催、JASRAC 及びイーライセンスとの協議、部会内勉強会、文化庁への訪問など。

「音楽配信部会 (NMRC を通じての活動)」 11回

部会開催、JASRAC 等の管理事業者との協議ならびにその準備会、実務 WG での検討や外部組織との折衝、文化庁への訪問など。

「ソフト規格部会」 13回

著作権、電子楽器の知的財産に関する調査研究、海外ビジネス WG を新設し海外の著作権ライセンスの研究など。

「音楽電子出版部会」16回

可視的コンテンツのネット配信について JASRAC との協議を再開。

「DRM 部会(旧 透かし推進プロジェクト)」 1回

AMEI 標準 MIDI 電子透かし MIDIsign のライセンス終了を決議。

「CDC(Copyright Data Clearinghouse)との連携」

- ・ CDC は活動5期目(2010年4月より稼動)となり、千葉氏(元副委員長)がオブザーバーとして定例会と NMRC 協議等に参加。
- ・ 管理事業者各社が起こす使用料請求トラブルについて、早期発見と解決策を AME I 会員企業に告知。
- ・ 2014年10-12月期は1億6千万行(JASRAC 取扱いの約3割)を処理

「管理事業法研究 WG」

WG としての会議は実施しなかったが、今後も情報収集を継続する。

「MIDI 規格委員会との連携」

① MIDI 規格の国際標準化推進への協力

- ・ IEC(International Electrotechnical Commission／国際電気標準会議) 東京会議(2014年11月)に出席し、電子楽譜のTR(Technical Report : 楽譜市場と技術に関する調査報告書)を作成することを承認された。
- ・ MMA 総会時に開催の電子楽譜ディスカッションにパネラーとして参加。

② 中国における商標「MIDI」の冒認登録への無効審判請求(TM-WG)を支援

- ・ 中国の商標管理当局に無効差し止めが受理され、7月 SKY 社の不服申し立てもなく中国における MIDI 商標の取消請求が、最終的に確定した。

「その他」

- ・ 早稲田大学創造理工学部・AMEI 連携講座を開催(2014年10月から半期)。講座名「国際コンテンツビジネスと著作権」／創造理工学部 知財・産業社会政策領域 森康晃 教授。今期7年目、学部生35名が受講。

事業報告

(全体)

「海外事業者に公平な課税適用を求める協議会」に参加し、活動の結果「国境を越えた役務の提供に対する消費税の課税の見直し(課税方式)」の閣議決定に至った。

(部会活動)

【カラオケ部会】

1. JASRAC との協議の内、包括的利用許諾契約によらない場合の基本使用料及び利用単位使用料について規程変更合意した。
2. イーライセンス社と業務用通信カラオケの使用料に関して暫定的に合意した。
3. 複数の管理事業者が業務用通信カラオケを管理する場合の使用料徴収に係る一元集中管理等の検討を行った。
4. 海外における業務用通信カラオケの権利処理について勉強会を行った。

【音楽配信部会】

<NMRC を通じて>

1. JASRAC とのインタラクティブ配信使用料規程改訂協議継続
 - ・ 抜本的な規程改訂を目ざし JASRAC に本質的な議論を求めるが、NMRC 提案と JASRAC 提案との基本概念に係る相違点が解消できず協議継続。
 - ・ 携帯キャリアの「お預かりサービス」取扱いの延長について合意

2. イーライセンス使用料規程改訂案(文言修正)提示を受け意見提示
3. JRC との使用料規程改訂協議継続
4. 新権利管理事業者との協議は新規案件発生せず、協議実績無し

<部会・NMRC 実務 WG として>

5. 著作者不明の裁定制度「相当な努力」基準見直しへのパブリックコメントを作成し文化庁提出
6. 複数の管理事業者による二重徴収で徴収率が 100%を超えている楽曲について管理事業者 2 社へ原因追及

【ソフト規格部会】

1. 文化庁クラウド小委員会の審議経過観察と部会内での意見交換継続
2. JASRAC「カルチャーセンターにおける演奏等」の使用料規程に関する調査継続
3. サンプリング音源、自動伴奏データの、楽器等ハードウェアの外観 3D データの頒布と不法販売サイトに関する情報収集。
4. 海外での録音物頒布や配信について JASRAC 国際部にヒアリング実施

【音楽電子出版部会(TR-Stg 含む)】

1. 電子書籍出版における歌詞・楽譜データの表示プラットフォームの研究
 - ・ 秀間修一氏(リアルライツ代表取締役)など、著名人を招いたセミナーを開催
 - ・ 電子楽譜、eLearning などに関する最新状況の情報共有
2. NMRC/DMN-WG の母体として、JASRAC ネットワーク課に著作物の可視的使用に関わる協議・意見交換会実施。
3. 電子楽譜の国際標準化検討
 - ・ IEC TC100 TA10 /JEITA と連携し電子楽譜の国際標準化について検討
 - ・ TA10、MIDI 規格委員会の協力を得て、IEC GM 東京会議にて、電子楽譜市場と技術の現状を発表。
 - ・ MMA GM(於：NAMM show) にて、AMEI/IEC による電子楽譜国際標準化に関連する活動を報告。
 - ・ 電子楽譜に関連の深い MusicXML/W3C の活動の中心人物である Michael Good 氏、Joe Berkovitz 氏との人脈構築。

【DRM 部会】

1. 音楽コンテンツを配信する CP にとって望ましい DRM のあり方、技術について研究調査を継続。
2. ISMC 規格と MIDIsign の管理を事務局と連携して運用。MIDIsign エンコーダーの会員向けサブライセンス終了を決議し、ライセンス元から AMEI への技術供給契約を終了した。

委員会活動実績(定例会)

日時	主たるテーマ	備考
① 4月10日 (13:30~15:00)	1. 各部会の今年度活動方針発表 2. JASRAC 送信部 5 名来訪挨拶 3. 音配:St サイト使用料 JASRAC から返金の件を確認 4. 各部部长/CDC 報告	ソフト規格部会:三澤副委員長 カラオケ部会:長谷川副委員長 音楽配信部会:堀江副委員長 音楽電子出版部会:徳弘部部长
② 5月08日 (13:30~15:00)	1. 海外課税フォーラム内容説明と希望者参加 2. ソフト:海外ビジネスWG 新設告知 3. 出版:TR-Stg(技術レポート研究 G)新設告知	定例会議議長:三澤副委員長 CDC:千葉オブザーバー DRM 部会:戸叶(兼務)
③ 6月12日 (13:30~15:00)	1. 音配:au スマートパスにおける CP の負担増を議論 2. カラオケ:JASRAC と合意した規程改訂文言に解釈の相違 3. カラオケ:ACA 委託作家が KOMCA に戻り JASRAC 管理	・リアルライツ秀間氏による「改正著作権法の概要について」開催(音楽電子出版部会)
④ 7月10日 (13:30~15:00)	1. 音配:JASRAC からの訴求請求に問題発覚 2. 音配:JASRAC 通常請求の一部に消費税解釈の異議あり 3. 出版:村上部部长(YMM)→徳弘氏(ヤマハ)に交代	・St サイトの CP ヒアリング実施 ・裁定に関するパブリックコメントを提出。
⑤ 9月11日 (13:30~15:00)	1. 音配:「YouTube MusicPass」等海外サイト情報の共有 2. 音配:JASRAC 遡及徴収の運用実態報告 3. 音配:文化庁クラウ <small>ド</small> 小委員会、過去 3 回の中間状況報告	・文化庁長官裁定に関する告示の一部改正が発表された。
⑥ 10月09日 (13:30~15:00)	1. 出版:DMN-WG と JASRAC の協議再開 2. DRM:透かしエンコーダーの会員向けライセンスを年度内で終了 3. 各部会報告	・早稲田理工連携講座スタート
⑦ 11月13日 (13:30~15:00)	1. 音配:「楽曲預かりサービス」の措置延長を JASRAC と合意 2. 音配:中村八大作品の JASRAC 信託状態変更の報告 3.各部会報告	・11月8日、IEC 年次総会(東京)の中の TA10 部会で電子楽譜に関するプレゼンを実施。
⑧12月11日 (15:30~16:30)	1.CDC:ドコモスマートコンテンツのキャリア内売上按分について報告 2.音配:e-License が JASRAC と今夏から民事係争中の報告 3.各部会報告	・忘年懇親会(参加 62 名)
⑨ 27年1月21日 (13:30~15:00) 臨時定例会	1. 音配:JASRAC が提示した規程変更案の問題点説明 2. 音配:St サイトの使用料按分手法について報告 3. カラオケ:JASRAC から確認文書案 2 点を受け取る	・1月23日、米国 MMA 総会 @NAMM にて電子楽譜のパネルディスカッションにパネラーとして登壇。
⑩ 27年2月12日 (13:30~15:00)	1. 音配:JASRAC 規程改定協議状況の報告 2. CDC:JRC と JASRAC の二重徴収問題の報告 3. 携帯キャリアのアプリ取りホ <small>ー</small> グ <small>イ</small> サービスの懸念点を報告	
⑪27年3月12日 (13:30~15:00)	1. 音配:JASRAC 国際部との意見交換会実施 2. 音配:JASRAC 規程改定協議状況の報告 3. 各部会報告	

(4) メディアコンテンツ委員会

8月5日/11月12日に事業委員会、MIDI検定委員会との拡大委員会を実施。
10月10日に事業委員会と合同で「2014 楽器フェア」AMEI イベントについて詳細検討。
2014 楽器フェアの最終日 11月23日、セミナールーム D にて「古山教授のハイレゾセミナー」を実施し、AMEInews vol.55 にて楽器フェアセミナーの実施レポートを掲載。

(5) MIDI 検定委員会

MIDI 検定委員会 2回開催

6月24日委員会：昨年度活動報告/今年度計画について日程等確認を行った。
8月5日/11月12日委員会：拡大事業委員会として、事業委員会・メディアコンテンツ委員会と合同で2014 楽器フェア AMEI 企画について検討を行った。

【平成26年度MIDI検定試験】

「第6回MIDI検定1級試験」8月8日～18日実施
「第17回MIDI検定3級試験、第16回MIDI検定2級1次（筆記）試験」
12月7日実施
「第16回MIDI検定2級2次試験」2月21日～23日実施

【平成26年度指導者認定講座】

「MIDI検定4級指導者認定講座」 東京会場5月18日、大阪会場5月25日
「MIDI検定3級指導者認定講座」 東京会場7月20日、大阪会場7月27日
「MIDI検定2級指導者認定講座」 東京会場9月21日、大阪会場9月28日

【MIDI検定セミナー】

「楽器フェア2014」にAMEIとして参加協力し、「DAWマエストロMIDI検定1級講座」（講師はMIDI検定1級課題曲を作曲された外山和彦氏）、「音楽制作講座」（講師はJSPA内藤朗氏、安保亮氏）等を実施した。

【中国での検定試験実施】

旧ガイドブックを使用する中国MIDI検定に対応したMIDI検定3級問題を作成し試験実施。ガイドブック「ミュージッククリエイターハンドブック」の中国語版の翻訳制作中。

【その他】

MIDI検定普及のため、藤本健氏のDTMstationにて記事広告を3回掲載。
結果として受験者が昨年:726名に対し748名と減少傾向に歯止めをかける事ができた。

(6) 事業委員会

2014年7月31日/9月30日「2014 楽器フェア」出展者説明会に参加。2014 楽器フェア AMEI イベントについての企画検討を行った。

【 2014 楽器フェア企画 】

8月5日/11月12日拡大委員会にて2014 楽器フェア企画検討。

10月10日メディアコンテンツ委員会と合同でイベント企画詳細検討。

● 楽器フェア 2014 出展 (11/21~23)

- ・ これぞ王道の打ち込み入門セミナー 「1・2・3・DAW！」
- ・ ABILITY PRO 1.5 徹底講座
- ・ DAW マエストロ MIDI 検定1級セミナー
- ・ SONICWIRE Presents 「簡単！ギターインストトラック制作セミナー」
- ・ Web MIDI イベント
- ・ VOCALOID の未来
- ・ デジタルオーディオの現在 (ハイRezセミナー)

上記7プログラムを東京ビッグサイト、セミナールームDにて実施。

(7) 広報委員会

委員会 (AMEInews 編集会議) 3回 開催

セキュリティー強化対策の検討会議 1回 開催

事業報告

○ 会報『AMEI News』発行 3回

◆ Vol.53 2014年 5月15日 発行

- ・ 第17回 NAMM ビジネスツアー報告
- ・ Web MIDI WG 報告
- ・ MIDI 検定試験実施結果報告
- ・ 著作権・ソフト委員会報告
- ・ AMEI 会員名簿
- ・ MIDI 検定指導者認定講座実施のお知らせ 等

◆ Vol.54 2014年 7月18日 発行

- ・ 一般社団法人 音楽電子事業協会 第3回通常総会報告
- ・ 新会員紹介
- ・ 役員名簿・組織図
- ・ 平成26年度事業計画
- ・ MIDI規格委員会 Web MIDI WG 報告
- ・ CDC 設立5周年記念レセプション報告
- ・ AMEI 会員名簿
- ・ MIDI 検定1級試験実施のお知らせ
- ・ 第3回通常総会議事録の開示について 等

◆ Vol.55 2015年 1月9日 発行

- ・ 「2014 楽器フェア」 AMEI イベント開催報告
- ・ 慶應 SFC ORF 2014 Web and Music レポート
- ・ Music China Web MIDI API 講演レポート
- ・ 国際電気標準会議 (IEC) 東京大会報告
- ・ AMEI 会員名簿
- ・ MIDI 検定2級2次試験開催のお知らせ 等

○ AMEI/MIDI 検定ホームページ運営

- ・ AMEI/MIDI 検定トップページリニューアル
- ・ AMEI NEWS
- ・ AMEI 出版物
- ・ 会員専用ページ
- ・ What's new、information
- ・ AMEI 活動報告

○ セキュリティー強化

- ・ WEB サーバーSSL(暗号化通信)の証明書の更新 (8月)
- ・ 個人情報の取扱状況確認 等